

## 平成23年度 指定管理施設運営状況評価表

### 1 施設の概要

施設の名称	下北文化会館	
指定管理者	団体名	株式会社 東京堂
	代表者	代表取締役 社長 内田大輔
	所在地	むつ市金谷1丁目10番1号
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	
指定管理業務の概要	1. 文化会館全体の維持管理及び運営に関する業務 2. 文化芸術の振興に関する業務 3. 文化会館の使用許可に関する業務 4. 舞台設備の操作点検等に関する業務	

### 2 収支の状況

※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計画額 ①	実績額 ②	増減 (②－①)
収入合計 (A)	121,641	114,095	△7,546
うち利用料金額	30,000	28,752	△1,248
うち指定管理料	81,341	81,404	63
支出合計 (B)	121,363	114,446	△6,917
うち人件費	16,000	15,765	△235
収支差 (A－B)	278	△351	△629
計画書と比較した実績額の増減理由	<p style="text-align: center;">貸館利用収入は、計画額より大幅に減額となっているが、収支差は経費抑制等自助努力による。</p>		

### 3 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増減 (②-①)
利用者数	下北文化会館	170,000	171,474	1,474

#### 利用者の声

- 高齢者は足が悪いのでトイレを洋式にしてほしい。  
(対応) 平成23年度予算で、館内のトイレを全面改修し洋式トイレの増設を実施した。
  
- 東側駐車場が狭いため、検診等で子供を抱いて市の駐車場等へ止めると雨天時はズブ濡れになるので、多目的広場を駐車場にできないか。  
(対応) 多目的広場の駐車場転用については、多くの利用者から要望があるので駐車場化にむけて下行との協議を進めている。
  
- センター棟を会議で利用するが、クーラーが効かないので夏場の利用を控えている。全館に冷房を入れてほしい。  
(対応) 24年度予算に要望したが、予算化されなかったため25年度予算にあらためて要求する。
  
- 大ホール客席数1186席は、広すぎて成果発表の場としての使用は困難である。また、会議室を増やしてほしい。  
(対応) 各室の用途変更を含め、稼働率向上に向けて下行との協議を進めている。

## 4 自主事業の実施状況

単位：円

NO.	事業名	事業内容	収入	支出
自主 1	弾いて鳴らして スタインウェイ コンサートピアノ	普及型事業 大ホールのスタインウェ イ・ピアノを自由に利用	108,000	1,560
自主 2	七夕に願いを書こう	普及型事業 笹の葉・短冊の設置	0	1,596
自主 3	地域芸術文化支援 事業 2011 音楽力	鑑賞・普及型事業 全 13 回のホールコンサート 全 12 回のアウトリーチ	1,640,630	1,833,864
自主 4	角笛シルエット劇場	教育型事業 幼保児童を対象とした影絵 鑑賞	626,200	877,450
自主 5	サークル活動発表会 SHIMOKATSU	普及型事業 会館を利用し、サークル活動 をしている団体の発表の場	0	111,127
自主 6	はっちゃんと笑う日	鑑賞型事業 黒石八郎氏による民謡と トークショー	596,000	877,718
共催 1	はじめてクラシック 2011 「音楽の動物園」	鑑賞・教育型事業 共催／財団法人地域創造	195,655	266,864
共催 2	第 27 回 下北地区子ども会郷 土芸能発表会	普及型事業 共催／下北地区子ども会連合会	0	138,600
		合 計	3,166,485	4,108,779

## 5 個別項目評価

※ 指定管理者と下北地域広域行政事務組合が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	下行評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか	A	A
② 施設の使用許可等が適正、円滑に行われたか	A	A
③ 利用者に対する接客マナー等職員の勤務態度は適正だったか	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか	A	A
② 潜在的な利用者等に営業活動を行い、利用アピールをしたか	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い効果があったか	A	A
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか	A	A
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適正に行われたか	A	A
③ 労働関係法令を遵守し、適正な管理を行ったか	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等利用できるよう利用情報提供の配慮をしたか	A	A
② 日常の事故防止等の安全対策は適正であったか	A	A
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか	A	A
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか	A	A

## 6 指定管理者総合評価

下北文化会館が開館して以来、文化芸術の拠点としての活動の他、健康福祉施設としての機能など地域住民の様々な活動の拠点として今日まで運営されています。

指定管理3年目として、館の老朽化に伴う諸対応と下北文化会館でなければできない運営を心掛けて参りました。

未曾有の災害東日本大震災後の余震等により、年度初めにはセンター棟貸館率・利用者人数共に計画を下回りながら平成23年度をスタートし、夏場は例年を上回る猛暑に加え電力不足による取組みにより、利用者のご協力を頂きながらの運営を余儀なくされた事、冬場の豪雪による除排雪費用が大幅に上回った事も大きく経費面に影響を及ぼしました。

下北文化会館の設置目的である下北地域広域行政事務組合を組織する市町村住民の芸術文化の発展を目的として、関係機関等と連携の元実施した「地域芸術文化支援事

業「2011 音楽力」では、県出身の音楽家の活動を支援しその活動を披露する事で、これから芽生えてくるであろう若い子供たちにバトンを渡すことに思いを馳せ、のべ3,000人以上の地域住民に向けて実施し、好評を博しました。

文化芸術のみならず、黒石八郎氏による民謡と漫談ショーでは、車椅子利用者の入場を可能にする為、簡易スロープを設置し特設席を設けるなどして高齢者の利便性を図った企画とし、大勢の地域住民に喜んで頂きました。

施設・設備の維持及び管理については、適正かつ効率的な管理運営ができるように、専門業者に委託するとともに、不都合箇所の修繕等館の保守・管理を徹底し、安全性及び快適性の向上を図りました。

来館者の声として最も多かったトイレ洋式化については、平成23年度中に取り組んでいただき利用者から便利になったという声を頂いております。

なお施設の運営については、四半期毎に運営向上委員会を開催し下北地域広域行政事務組合と協議しながら利用者の利便性向上に努めてまいりました。

## 7 下北地域広域行政事務組合の総合評価

下北文化会館の指定管理者となり最終の3年目になり、これまでの経験と実績を基に、施設の設置目的に沿った施設管理並びにサービス・事業が実施されるとともに、FMアジュールやポスター等で広く一般に対しての施設PRにも取り組み、スムーズな運営が行われている。

自主事業の「地域芸術文化支援事業 2011 音楽力」は、ホールでの事業展開に加え、アーティストを教育現場や地域コミュニティ等の身近な場所に派遣し、アーティストの持つ能力を活かしながら、圏域住民が気軽に文化・芸術に触れ、体験できる場を提供したことは、とても素晴らしい事業として認められます。

開館から26年が経過し、施設の老朽化が進み、設備の故障や施設の破損が増える中、緊急修繕に柔軟に対応し、安全性を重視した良好な維持管理がなされている。

また、空調や照明などを効率的に運用するなど、節電・節水などの省エネルギーへの取り組みが認められます。

収支決算については、貸し館利用収入が計画額を下回り、支出が豪雪による除排雪費の増と燃料費の高騰で計画額を超えたことが大きな要因で、指定管理者の経費抑制等自助努力も認められるものの、収支の健全化・適正化を図ることが必要である。

平成24年度からの5年間について、引き続き指定管理者となりましたが、これまでの経験を活かした管理運営・安定経営に努め、企画事業の拡充等一層のサービス向上に期待したい。